マルチクライアント特別調査企画のご案内

Fuji Keizai
Marketing Research & Consulting Group

工場・倉庫における暑熱対策ニーズ調査 2026年版

【市場調査資料サマリー】
2026年9月

株式会社富士経済
ソーシャル・ソリューション事業部
〒541-0043 大阪府大阪市中央区高麗橋3-3-11 淀屋橋フレックスタワー
ＴＥＬ：06-6228-2020　ＦＡＸ：06-6228-2030

■ はじめに

- 2025年7月に「労働安全衛生規則の一部を改正する省令」が改正され、近年増加傾向にある職場の熱中症対策が義務化された。気候変動に伴い、酷暑化する労働現場での暑熱対策は、消費財産業、中間財（素材）産業、生産財産業に広く影響を及ぼしており、メーカー各社における商品開発の注目度が高まっている。
- 企業側においても、人手不足が慢性化している昨今において、従業員の労働環境の改善は定着率の向上にも寄与することから、暑熱対策は非常に関心が高い課題となっている。特に製造現場である工場やこれまで空調設備の充足が図られてこなかった倉庫においては、高温環境下での生産/作業が求められるケースや、局所空調の整備が追い付いていない現場も顕在していることが想定され、企業における暑熱対策に対する設備投資意向は、業種や規模、既存の設備環境によって、異なることが想定される。
- 本調査では工場と倉庫における暑熱対策として設備投資による環境整備を行うのか、遮熱塗料などを用いて建築物の断熱性能の改善を図るのか、または、ウェアラブル端末やアプリなどを用いて労働者の管理を実施する方向性なのか、暑熱対策におけるユーザーニーズを調査し、業界全体における暑熱対策の方向性を整理した。

■ 調査概要

Ⅰ. 調査テーマ

「工場・倉庫における暑熱対策ニーズ調査 2026年版」

Ⅱ. 調査対象

調査対象業種	対象対象
• 食料品製造業 • 一般機械器具製造業 • 輸送用機械器具製造業 • 窯業・土石製品製造業 • プラスチック製品製造業 ＋ • 倉庫・物流施設	• 調査対象業種は、工場については、弊社資料「産業施設のエネルギー消費実態2025」を用い、最終蒸気消費量を昇順に並べた上位7業種の内、左記5業種（一部任意に対象外）のエネルギー管理指定工場（約1,770件）を調査対象とした。 • 倉庫・物流施設については、（社）日本倉庫協会に所属する会員企業（約3,500件）の内、第1～第3類のいずれかの普通倉庫を所有する事業者、もしくは、ロジスティクス機能を有する物流倉庫を調査対象とした。

Ⅲ. アンケート回答数

【工場】有効回答数：138件

食料品製造業：31件
一般機械器具製造業：24件
窯業・土石製品製造業：28件
輸送用機械器具製造業：21件
プラスチック製造業：34件

【倉庫・物流施設】有効回答数：22件

Ⅳ. 調査方法

・各事業者が公表するオープンソースの収集・整理・分析を実施した。
・弊社調査員によるアンケート調査をベースとし、電話調査による補完調査を行った。

Ⅴ. 調査期間

26年7月～26年8月

Ⅵ. 企画・調査・編集

株式会社富士経済　ソーシャル・ソリューション事業部

■ 目次（1/2）

【Ⅰ.総括編】

1. 工場・倉庫における暑熱対策ニーズと今後のソリューション開発の方向性 …… 1
2. 暑熱対策における空調方式・設備投資・ソリューション提案の今後の方向性 …… 2
3. 大手工場・倉庫における暑熱対策の方針・対策方法の特徴 …… 3
4. 工場・倉庫の暑熱対策の推進状況 …… 4
5. 短期・中期・長期別にみる暑熱対策予算化プロセス …… 5
6. 空調方式別の優先度、導入背景 …… 6
7. 工場・倉庫における空調設備の監視状況 …… 7
8. 暑熱対策への注力度が高い業種、事業者における特徴 …… 8
9. 暑熱対策における工場・倉庫内の課題 …… 9
10. 暑熱対策に求められるポイント、ソリューション提案ニーズ …… 10

【Ⅱ.集計編】

1.回答者属性 …… 12
2.対人空調設備の設置状況 …… 13
3.作業環境における空調設備の監視状況 …… 39
4.暑熱対策の現状 …… 40
5.今後における暑熱対策の実施意向 …… 69

■ 目次（2/2）

【Ⅲ.アンケート回答一覧】

食料品製造業 …… 90

一般機械器具製造業 …… 102

輸送用機械器具製造業 …… 114

窯業・土石製品製造業 …… 130

プラスチック製品製造業 …… 138

倉庫・物流施設 …… 156

※【Ⅲ.アンケート回答一覧】はPDF版セット、ネットワークパッケージ版に個別企業の回答結果をエクセル一覧表形式にて収録

【Ⅳ.ユーザー編】

食料品製造業 …… 167

一般機械器具製造業 …… 291

輸送用機械器具製造業 …… 387

窯業・土石製品製造業 …… 471

プラスチック製品製造業 …… 583

倉庫・物流施設 …… 719

（参考）アンケート票

■アンケート調査項目（1/2）

1.企業情報（業種/主な生産品目/所在地/延床面積/敷地面積 ）
2.現状における対人用空調設備の設置状況*1
　1）中央熱源設備（チラー/吸収式冷温水機/ターボ冷凍機/他）
　2）二次側設備（AHU/FCU/他）
　3）個別熱源設備（VRF/PAC/他）
　3）その他のスポット/可搬型空調機（スポットクーラー/送風機/空調服/他）
3.空調環境の監視状況（空調コントローラー/空調制御システム/EMS/遠隔監視/アナログ（温度・湿度計）/他）
4.暑熱対策の現状
　1）暑熱対策方針の有無（有/無）
　2）暑熱対策方針策定の背景
　3）作業環境別にみた暑熱対策実施現状（生産棟/事務所棟/倉庫棟）
　4）作業環境別にみた温度管理実施現状（生産棟/事務所棟/倉庫棟）
　5）作業環境別にみた湿度管理実施現状（生産棟/事務所棟/倉庫棟）
　6）暑熱対策の提案元（自社発案/他社発案/他）
　7）暑熱対策におけるWBGT指標の位置づけ（室温管理と同程度/温度管理が優先/他）
　8）暑熱対策の優先度（空調設備/建物断熱・遮熱/消費財）
　9）空調方式別にみる暑熱対策の優先度の高さ（全体空調/ゾーン空調/スポット空調/可搬型空調）
　10）空調設備の拡張意向（新設/更新/増設//現状維持/対策検討中/対策予定無/その他）
　11）空調設備の導入時における購入形態（自己資金/リース/エネルギーサービス/他）
　12）暑熱対策の推進体制（本社主導/事業所単位（他事業所との共有有）/事業所単位（他事業所との共有無）/その他）
　13）暑熱対策として重視しているポイント（補助金情報の共有/既存空調設備との連携・連動/保全省力化/他）
5. 生産工程における暑熱対策の必要性*2

*1 *中央熱源は対物空調の系統を一部含む *2製造業のみのアンケート調査項目

■アンケート調査項目（2/2）

6.暑熱対策における今後の実施意向
- 1）今後の実施意向（実施意向あり/検討中/実施意向なし/他）
- 2）今後の暑熱対策実施検討場所（生産棟/事務所棟/倉庫棟/他）
- 3）場所別にみた今後の暑熱対策実施手段（全体空調/ゾーン空調/スポット空調可搬型空調）
  - （1）生産棟
  - （2）事務所棟
  - （3）倉庫棟
- 4）場所別にみた今後の暑熱対策実施時期（短期（夏前～半年以内）/短期（2026年度末まで）/中期（1～2年）/長期（2年以上）/他）
  - （1）生産棟
  - （2）事務所棟
  - （3）倉庫棟
- 5）暑熱対策手段別にみた今後の予算規模
  - 1）全体空調（1億円以上/5,000万円～1億円未満/1,000万円～5,000万円未満/1,000万円未満/都度検討/その他）
  - 2）ゾーン空調（1億円以上/5,000万円～1億円未満/1,000万円～5,000万円未満/1,000万円未満/都度検討/その他）
  - 3）スポット空調（3,000万円以上/1,000万円～3,000万円未満/500万円～1,000万円未満/500万円未満/都度検討/その他）
  - 4）可搬型空調（3,000万円以上/1,000万円～3,000万円未満/500万円～1,000万円未満/500万円未満/都度検討/その他）
  - 5）建物断熱・遮熱工事（1億円以上/5,000万円～1億円未満/1,000万円～5,000万円未満/1,000万円未満/都度検討/その他）
- 6）暑熱対策手段別にみた今後の暑熱対策実施時期（短期（夏前～半年以内）/短期（2026年度末まで）/中期（1～2年）/長期（2年以上）/他）

7. 暑熱対策における困りごと

8. 商品開発要望・エンジニアリングニーズ

9. 暑熱対策における自由記述

■アウトプットイメージ（Ⅰ.総括編）



【調査ポイント】

- 業種別にみた暑熱対策の現状の実施状況や場所別・空調方式別にみた今後の暑熱対策の実施意向について調査
  →既存顧客への提案の切り口としての参考情報、今後の営業ターゲットの選定において活用可能性あり
- 暑熱対策におけるユーザーニーズを集約し、ポイントを示唆
  →新製品の開発や既存商品の改良への活用可能性あり
- 暑熱対策を契機に提案していくソリューションについて総括
  →ソリューション営業の企画情報や営業戦略の情報として参考となる可能性あり

■アウトプットイメージ（Ⅳ.ユーザー編（1/2））

1.企業概要

No.		業種名		主要生産品目	
所在地		延床面積	㎡	敷地面積	㎡
企業概要に関するコメント					

2．対人用空調設備の設置状況

空調設備区分		熱源機1台あたりの容量	設置台数	合計容量	備考
中央熱源設備	チラー（空冷）	kw	台	kw	
	チラー（水冷）	kw	台	kw	
	チラー（冷専）	kw	台	kw	
	吸収式冷温水発生機	RT	台	RT	
	ターボ冷凍機	RT	台	RT	
二次側設備	エアハンドリングユニット	1．～5台未満　2．5～10台未満　3．10～20台未満　4．20台以上　5．不明			
	ファンコイルユニット	1．～5台未満　2．5～10台未満　3．10～20台未満　4．20台以上　5．不明			

空調設備区分		設置台数	備考
個別熱源設備	ビル用マルチエアコン	1．～5台未満　2．5～10台未満　3．10～20台未満　4．20台以上　5．不明	
	パッケージ用空調	1．～5台未満　2．5～10台未満　3．10～20台未満　4．20台以上　5．不明	
	その他	1．～5台未満　2．5～10台未満　3．10～20台未満　4．20台以上　5．不明	

空調設備区分		設置の有無	備考
スポット/可搬型設備	スポットクーラー	1．あり　2．なし	
	送風機	1．あり　2．なし	
	空調服	1．あり　2．なし	
	その他	1．あり　2．なし	

3．空調設備の監視制御実施状況

1.空調コントローラー	あり ・ なし	2.空調制御システム	あり ・ なし	3.エネルギーマネジメントシステム	あり ・ なし
4.遠隔監視	あり ・ なし	5.アナログ（温度計/湿度計）	あり ・ なし	6.その他	（　　）

4.暑熱対策の現状

1)暑熱対策における方針の有無	1.方針あり	2.方針なし	【備考】
2)暑熱対策方針策定の背景	1.法律で義務化されたため　2.働き手を確保するため	3.その他	（　　）

（前頁続き）4.暑熱対策の現状

3)作業環境別にみた暑熱対策実施状況	(1)生産棟	1.実施済	2.対策中	3.検討中	4.未実施	【3)～5)の備考】		
	(2)事務所棟	1.実施済	2.対策中	3.検討中	4.未実施			
	(3)倉庫棟	1.実施済	2.対策中	3.検討中	4.未実施			
4)作業環境別にみた温度管理実施状況	(1)生産棟	1.実施済	2.対策中	3.検討中	4.未実施			
	(2)事務所棟	1.実施済	2.対策中	3.検討中	4.未実施			
	(3)倉庫棟	1.実施済	2.対策中	3.検討中	4.未実施			
5)作業環境別にみた湿度管理実施状況	(1)生産棟	1.実施済	2.対策中	3.検討中	4.未実施			
	(2)事務所棟	1.実施済	2.対策中	3.検討中	4.未実施			
	(3)倉庫棟	1.実施済	2.対策中	3.検討中	4.未実施			
6)暑熱対策の提案元		1.自社発案	2.他社提案	3.その他	（　　）			
7)暑熱対策におけるWBGT指標の位置づけ		1.室温管理と同等	2.温度管理が優先	3.その他	（　　）			
8)暑熱対策の優先度の高さ	(1)空調設備	1.優先度が最も高い	2.優先度が2番目	3.優先度が3番目	【備考】			
	(2)建物断熱・遮熱工事	1.優先度が最も高い	2.優先度が2番目	3.優先度が3番目				
	(3)消費財	1.優先度が最も高い	2.優先度が2番目	3.優先度が3番目				
9)空調方式別にみる暑熱対策の優先度の高さ	(1)全体空調	重要度	← 低	1	2	3	4	5 高 →
	(2)ゾーン空調	重要度	← 低	1	2	3	4	5 高 →
	(3)ｽﾎﾟｯﾄ空調	重要度	← 低	1	2	3	4	5 高 →
	(4)可搬型空調	重要度	← 低	1	2	3	4	5 高 →
	(1)～(4)の理由							
10)空調設備の拡張意向		1.新設	2.更新	3.増設	4.現状維持	5.検討中	6.対策予定無	
		7.その他	【備考】					
11)空調設備導入時に検討する購入形態		1.自己資金	2.リース	3.ｴﾈﾙｷﾞｰｻｰﾋﾞｽ	4.その他	（　　）		
12)暑熱対策の推進体制		1.本社主導	2.事業所単位（共有あり）	3.事業所単位（共有なし）	4.その他	（　　）		
13)暑熱対策として重視しているポイント		1.補助金情報の共有	2.既存空調設備との連携・連動	3.メンテナンスが楽であること	4.その他	（　　）		

■アウトプットイメージ（Ⅳ.ユーザー編（2/2））

5.生産工程における暑熱対策の必要性

1)保有工程		1.溶解	2.成形予熱	3.成形・押出・プレス	4.表面処理	5.溶着	6.アニール
		7.乾燥	8.加工	9.その他	（　　）		
2)製造工程別にみる暑熱対策の必要性の高さ	1.溶解	1.必要	2.不要	3.ﾌﾟﾛｾｽなし	【備考】		
	2.成形予熱	1.必要	2.不要	3.ﾌﾟﾛｾｽなし			
	3.成形・押出・プレス	1.必要	2.不要	3.ﾌﾟﾛｾｽなし			
	4.表面処理	1.必要	2.不要	3.ﾌﾟﾛｾｽなし			
	5.溶着	1.必要	2.不要	3.ﾌﾟﾛｾｽなし			
	6.アニール	1.必要	2.不要	3.ﾌﾟﾛｾｽなし			
	7.乾燥	1.必要	2.不要	3.ﾌﾟﾛｾｽなし			
	8.加工	1.必要	2.不要	3.ﾌﾟﾛｾｽなし			
	9.その他	1.必要	2.不要	3.ﾌﾟﾛｾｽなし			

6．暑熱対策における今後の実施意向

1)今後の暑熱対策実施意向		1.実施意向あり	2.検討中	3.実施意向なし	4.その他	（　　）	
		【備考】	（　　）				
2)今後の暑熱対策実施検討場所		1.生産棟	2.事務所棟	3.倉庫棟	4.その他	（　　）	
3)場所別にみた今後の暑熱対策手段	(1)生産棟	1.全体空調	2.ゾーン空調	3.スポット空調	4.可搬型空調	5.建物断熱・遮熱工事	【備考】
	(2)事務所棟	1.全体空調	2.ゾーン空調	3.スポット空調	4.可搬型空調	5.建物断熱・遮熱工事	
	(3)倉庫棟	1.全体空調	2.ゾーン空調	3.スポット空調	4.可搬型空調	5.建物断熱・遮熱工事	
4)場所別にみた今後の暑熱対策実施時期	(1)生産棟	1.短期（夏前/～半年以内）	2.短期（2026年度末まで）	3.中期（1～2年）	4.長期（2年以上）	5.その他	【備考】
	(2)事務所棟	1.短期（夏前/～半年以内）	2.短期（2026年度末まで）	3.中期（1～2年）	4.長期（2年以上）	5.その他	
	(3)倉庫棟	1.短期（夏前/～半年以内）	2.短期（2026年度末まで）	3.中期（1～2年）	4.長期（2年以上）	5.その他	
5)暑熱対策手段別にみた今後の予算規模	(1)全体空調	1.1億円以上	2.5,000万円～1億円未満	3.1,000万円～5,000万円未満	4.1,000万円未満	5.都度検討	6.その他
	(2)ゾーン空調	1.1億円以上	2.5,000万円～1億円未満	3.1,000万円～5,000万円未満	4.1,000万円未満	5.都度検討	6.その他
	(3)スポット空調	1.3,000万円以上	2.1,000万円～3,000万円未満	3.500万円～1,000万円未満	4.500万円未満	5.都度検討	6.その他
	(4)可搬型空調	1.3,000万円以上	2.1,000万円～3,000万円未満	3.500万円～1,000万円未満	4.500万円未満	5.都度検討	6.その他
	(5)建物断熱・遮熱工事	1.1億円以上	2.5,000万円～1億円未満	3.1,000万円～5,000万円未満	4.1,000万円未満	5.都度検討	6.その他
	備考						

（前頁続き）6．暑熱対策における今後の実施意向

6)暑熱対策手段別にみる今後の暑熱対策の予算化時期	(1)全体空調方式	1.短期（夏前/～半年以内）	2.短期（2026年度末まで）	3.中期（1～2年）	4.長期（2年以上）
	(2)ゾーン空調方式	1.短期（夏前/～半年以内）	2.短期（2026年度末まで）	3.中期（1～2年）	4.長期（2年以上）
	(3)スポット空調方式	1.短期（夏前/～半年以内）	2.短期（2026年度末まで）	3.中期（1～2年）	4.長期（2年以上）
	(4)可搬型空調方式	1.短期（夏前/～半年以内）	2.短期（2026年度末まで）	3.中期（1～2年）	4.長期（2年以上）
	(5)建物断熱・遮熱工事	1.短期（夏前/～半年以内）	2.短期（2026年度末まで）	3.中期（1～2年）	4.長期（2年以上）
	備考				

7．暑熱対策における困りごと

自由記述	

8．商品開発要望・エンジニアリングニーズ

自由記述	

9．暑熱対策に関する自由記述

自由記述	

■お問い合わせ・お申し込みについて

調査資料名：工場・倉庫における暑熱対策ニーズ調査 2026年版

WEB掲載先：https://www.fuji-keizai.co.jp/report/detail.html?code=112604752
頒価　　：1,485,000円（税抜 1,350,000円）
　　…ネットワークパッケージ版（バインダー綴じ報告書＋CD-ROM / PDFダウンロード提供）
　　：1,089,000円（税抜 990,000円）
　　…書籍/PDF版セット（バインダー綴じ報告書＋CD-ROM）
　　： 990,000円（税抜 900,000円）
　　…書籍版（バインダー綴じ報告書）

発刊日　　：2026年9月18日

ページ数　：784ページ

報告書体裁：ファイル綴り報告書

お申込方法：弊社営業担当または上記URLより、お問い合わせください。

【お問い合わせ先】
株式会社富士経済
ソーシャル・ソリューション事業部
Tel 06-6228-2020